

テバファーマスーティカル・インダストリーズ・リミテッドのフィルグラスチム製剤の日本における開発・販売権を日本化薬株式会社と興和テバ株式会社が取得

2010/04/20

日本化薬株式会社(本社：東京都千代田区、社長：島田紘一郎)と興和テバ株式会社(本社：東京都中央区、社長：井上信喜)は、テバファーマスーティカル・インダストリーズ・リミテッド(本社：イスラエル、社長：シャロム ヤナイ)が欧州で開発・販売し、米国にて承認申請中のフィルグラスチム製剤について、日本における開発・販売権を取得することに合意いたしました。日本化薬株式会社と興和テバ株式会社は両社共同で本剤の開発・販売をしております。

フィルグラスチムは遺伝子組換え顆粒球コロニー形成刺激因子で、好中球前駆細胞に作用して、その分化・増殖を促進させます。さらに、骨髄からの好中球の放出を促進し、機能を亢進させることが知られています。フィルグラスチム製剤は、主のがん化学療法により骨髄の機能が低下した場合、また、再生不良性貧血に伴い白血球が減少した時や骨髄移植直後に用いられます。今回開発・販売を行うフィルグラスチム製剤はバイオ後続品としての位置づけとなります。

日本化薬株式会社は、現在 24 品目の抗悪性腫瘍剤と 6 品目の癌治療関連製品を販売し、がん領域を重点に事業基盤を構築しており、今回のフィルグラスチム製剤の導入により、一層のラインナップの充実を目指します。本剤を早期に上市することにより、がん医療が向上し、患者様やその御家族、医療関係者の皆様に一層貢献できることを期待しております。

興和テバは、今回のフィルグラスチム製剤の共同開発・販売により、がん領域の品揃えを強化して参ります。また、本分野での資本提携を行っている大正薬品工業株式会社との営業統合を本年 7 月 1 日に行うべく作業を進めております。本営業統合後の製品数は約 260 品目となりワンストップショップ型のジェネリック企業として更なる飛躍を遂げてまいります。

【参考資料】

テバファーマスーティカル・インダストリーズ・リミテッドの概要
本社所在地 イスラエル

事業内容 イスラエルに本社を置くテバファーマスーティカル・インダストリーズは世界トップ 20 位に入る製薬メーカーで、特にジェネリック医薬品分野では、世界第一位の企業です。
2009 年、スイスに本拠を置くロンザ・グループと、バイオ後続品の開発を行う合弁会社を設立する事で合意に至りました。

本件に関するお問い合わせ先

日本化薬株式会社 広報 I R 部 03-3237-5046

興和テバ株式会社 経営企画室 03-5299-9108